

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード	3-2-3		事業名	体育施設整備事業
担当	観光文化局スポーツ部施設課 小林 TEL211-3045			
全体計画				
事業内容	市有建築物中期整備計画にのっとり、平成18年12月20日に施行された「高齢者、障がい者の移動等の円滑化の促進に関する法律(バリアフリー新法)」及び福祉のまちづくり条例を踏まえ、スポーツ部所管体育施設についてエレベータ設置等バリアフリー化を進める。		＜年度別の事業内容＞	
			【当初計画予定】 H20年度 手稲区体育館実施設計 H21年度 手稲区体育館バリアフリー改修 厚別区体育館実施設計 豊平公園温水プール実施設計 H22年度 厚別区体育館バリアフリー改修 豊平公園温水プールバリアフリー改修 麻生球場実施設計 宮の沢屋内競技場実施設計 藤野野外スポーツ交流施設実施設計	
事業内容	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)	
	・事業計画の策定 (都市局建築部で策定した市有建築物中期整備計画の項目に沿って、スポーツ部所管の体育施設の身障対応エレベータ設置及び身障対応トイレ改修といったバリアフリー化のみの事業計画の策定を行った。)		計画では手稲区体育館の実施設計を予定していたが、予算化出来なかったため、実施できなかった。そのため、計画を1年遅らせるよう見直しを図った。	
事業内容	平成21年度事業内容(決算)		平成22年度事業内容(予算)	
	計画では手稲区体育館の実施設計を予定していたが、予算化出来なかったため、実施できなかった。そのため、計画の見直しを図った。		計画では手稲区体育館、厚別区体育館の実施設計を予定していたが、予算化出来なかったため、今後も財政局及び都市局建築部と協議を行い、事業実施に向けた検討を進める。	
事業場				
事業規模				
事業件数				
事業数				

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	3-2-3		事業名	体育施設整備事業		
達成目標の状況						
項目	18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (実 績)	21年度末 (実 績)	22年度末 (予 定)	22年度末 (目 標)
体育施設のバリアフリー化(累計)	3施設	3施設	3施設	3施設	3施設	6施設
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)						
<p>■市民との連携、市民参加 利用者の意見を取り入れたバリアフリー化の実施検討</p> <p>■企業等との連携・協働 [資金協力](該当なし) [人材協力](該当なし) [情報協力](該当なし) [その他の協力](該当なし)</p> <p>■市民・企業等が参加しやすい環境づくり (該当なし)</p>						
評価(成果)			課題			
平成19年度については事業計画の策定を行ったが、平成20年度、21年度に引き続き22年度についても予算の確保ができていないため実行できない。			バリアフリー改修工事単体では改修による費用対効果あまり期待できないため、機能改善や大規模改修と合わせた計画の検討を行う必要がある。			
今後の事業の予定・方向						
機能改善や大規模改修と合わせて、全体として効率的な改修ができるよう、財政局及び都市局建築部と協議を進めていく。ただし、特にバリアフリーについては、法制上及び利用者の利便性の観点から早急に対応する必要がある。						

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

施策体系コード		3-2-3			事業名	体育施設整備事業					
事業費の推移											
項目		19年度		20年度		21年度		22年度		計	
計画	事業費	0		1,231		18,589		36,180		56,000	
	財源内訳	国・道支出金	0		0		0		0		0
		市の債	0		0		10,000		10,000		20,000
		その他の	0		0		0		0		0
		一般財源	0		1,231		8,589		26,180		36,000
予算	事業費	0		0		0		0		0	
	財源内訳	国・道支出金	0		0		0		0		0
		市の債	0		0		0		0		0
		その他の	0		0		0		0		0
		一般財源	0		0		0		0		0
実績	事業費	0		0		0		-		0	
	財源内訳	国・道支出金	0		0		0				0
		市の債	0		0		0				0
		その他の	0		0		0				0
		一般財源	0		0		0				0
事業費の進捗率		(H19実績+H20実績+H21実績+H22予算事業費) / (計画事業費) 0.0%									
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)											
《全体》 予算の確保ができていないため、実行できない。当初の計画通りではないため、市有建築物中期整備計画の見直しが必要とされる。											
[19年度]											
[20年度]											
[21年度]											
[22年度]											